

小中高生向けの日本語サマーコース
「シベリア・北海道サマースクール」
事業報告書



2021年6月7日（月）～18日（金）

主催：ノボシビルスク市立観光・姉妹都市センター「シベリア・北海道」



目次

事業概要.....	3
参加者名簿.....	4
コース日程.....	6
課程内容.....	7
コーディネーターまとめ.....	11
参加者フィードバック.....	12

事業概要

【目的】

- 日本語でのコミュニケーションが取れるようになる。
- 日本の文化・生活慣習の知識を得る。
- グループワークスキルを高める。

【概要】

当コースは日本語を学び、日本文化に関心を持っている小中高生向けのものです。日本語の授業、文化的なワークショップ、生活慣習についての講義とグループワークを含んでいます。日本語・教育学資格を持つ「シベリア・北海道」センターの職員は課程を企画し、授業を担当しました。授業中は、初級・中級の教科書、PowerPoint プレゼンテーション、動画、オーディオファイルなどの教材を使用しました。参加者はそれぞれに授業の知識をよく得るために、「初級」と「中級」グループに分けました。

オンライン・オフラインワークショップと講義で参加者は日本について色々な面白いことを知りましたし、得た知識を実践してみました。日本人の教師、日本文化の専門家が講師として協力しました。

レッスンの後、参加者は一緒に自分の感想を表す壁新聞を作ったり、フェアウェルパーティーの準備をしました。

【日時】

2021年6月7日（月）～18日（金）14:00～17:00（土・日・祝を除く）

【会場】

ノボシビルスク市立観光・姉妹都市センター「シベリア・北海道」

【一日の流れ】

活動	時間
日本語の授業	45分
休憩	15分
日本の文化・生活慣習に関するイベント	60分
グループワーク	60分

【成績評価】

授業やイベントへの参加者の興味を喚起するために、点数として日本の「お札」（お金模型セット）を使用しました。参加者たちはもらった「お金」で、フェアウェルパーティーの市（いち）で本物の日本のお土産などの商品を買うことができました。

参加者名簿

【初級グループ】

	名前	年齢	学歴	日本をを勉強している場所
1	セレブリャコワ・アリーナ (Serebryakova Alina)	16	高校生	シベリア・北海道センター
2	トロコンスキイ・アレクサ ンドル (Tonokonsky Alexander)	15	高校生	シベリア・北海道センター
3	セクテリョワ・ヴィクトリ ヤ (Sectereva Victoria)	14	中学生	シベリア・北海道センター
4	チャイコ・デニス (Chaiko Denis)	13	中学生	中学校
5	ミロノワ・エーワ (Mironova Eva)	13	中学生	中学校
6	フィリポワ・ワルワラ (Philippova Varvara)	13	中学生	中学校
7	ベクナザリヤン・アンナ (Beknazaryan Anna)	12	中学生	独習
8	ポパントノプロ・マリーヤ (Popantonopulo Maria)	9	小学生	小学校
9	ウニャチナ・リーヤ (Vinyatina Lia)	9	小学生	小学校



【中級グループ】

	名前	年齢	学歴	日本をを勉強している場所
1	ルキヤノフ・ユーリイ (Lukyanov Yuri)	18	高校生	シベリア・北海道センター
2	エルモリン・アンドレイ (Ermolin Andrey)	17	高校生	シベリア・北海道センター
3	バティナ・アンナ (Batina Anna)	17	高校生	シベリア・北海道センター
4	ジノヴィエワ・ソフィヤ (Zinovieva Sofia)	16	高校生	シベリア・北海道センター
5	ズベンコ・ヴィクトリヤ (Zubenko Victoria)	16	高校生	独習
6	テリチコ・オレグ (Telichko Oleg)	16	高校生	シベリア・北海道センター
7	ヤコブレワ・アレクサンドラ (Yakovleva Alexandra)	16	高校生	シベリア・北海道センター
8	ロンチコワ・アリョーナ (Ronchikova Alyona)	15	高校生	シベリア・北海道センター
9	グリャエワ・ダリヤ (Gulyaeva Daria)	15	高校生	シベリア・北海道センター
10	スウィンツォワ・マリーヤ (Svintsova Maria)	15	高校生	シベリア・北海道センター
11	スロディナ・アンナ (Surodina Anna)	13	中学生	シベリア・北海道センター



コース日程

時間	6月7日(月)	6月8日(火)	6月9日(水)	6月10日(木)	6月11日(金)
14:00～ 14:45	自己紹介	漢字	私の町	体育	食べ物
14:45～ 15:00	休憩				
15:00～ 16:00	壁新聞の作り 方・ コンサート 準備の手分け	書道 (ワークショップ)	「私の好きな場 所」 (日本人の先生 のオンライン講 義)	書道 (ワークショップ)	「日本の朝 食」 (日本人の先 生のオンライ ン講義)・ お弁当(ワーク ショップ)
16:00～ 17:00	リハーサル				
時間		6月15日(火)	6月16日(水)	6月17日(木)	6月18日(金)
14:00～ 14:45		買い物	誕生日	リハーサル	フェアウェルパー ティー
14:45～ 15:00		休憩			
15:00～ 16:00		和服(ワークシ ョップ)	日本留学(ノボ シビルスク国立 総合大学の卒業 生の講義)	リハーサル	
16:00～ 17:00		リハーサル			

※ 6月14日(月)は祝日のため、授業なし

課程内容

【6月7日】

- 日本語の授業：参加者は名前、年齢、学歴などの自己紹介に関係がある語彙と文法を勉強しました。練習としては、二人で自己紹介の会話をしてみました。
- グループワーク：コースの印象を表すために、初級グループと中級グループはそれぞれの壁新聞を作りはじめました。その後、参加者はフェアウェルパーティーのコンサート活動を選びました。活動は「浦島太郎」という人形芝居、ダンス・ヴォーカル演奏、日本語による発表でした。



【6月8日】

- 日本語の授業：参加者は漢字をはじめ日本語の表記体系を詳しく検討しました。漢字の書き順、部首の種類などの練習をしました。
- イベント：書道ワークショップで参加者は日本書道の歴史、特徴について知り、好きな漢字を書きました。





【6月9日】

- 日本語の授業：参加者は住んでいる所について日本語で話すことを勉強しました。
- イベント：田口先生がオンラインで東京についての興味深い講義をしました。参加者は授業で習った知識を実践するために、先生が住んでいる所について日本語で色々な質問をしました。



【6月10日】

- 日本語の授業：主なテーマは体育でした。参加者は人間の体と体操に関する語彙を習い、「～てください」の文法を復習しました。
- イベント：剣道という伝統的な武道のワークショップの時、参加者は日本の武士のように、構えを習いましたし、竹刀も使ってみました。



【6月11日】

- 日本語の授業：参加者は好きな料理について日本語で話したり、日本語のレシピを検討したりしました。
- イベント：6月11日はとても活動的な日でした。まず、渡部先生がオンラインで参加者に日本の朝食について話しました。皆は興味を持ち、色々な質問をしました。その後、日本のお弁当を作ってみました。





【6月15日】

- 休日にゆっくり休んでから、参加者は「買い物」というとても大事なテーマを勉強しました。レッスンで得た知識をフェアウェルパーティーの市で実践できました。
- イベント：日本人の生活をよく理解するため、和服について詳しく調べることは役に立つので、「シベリア・北海道」センターの職員が着物の歴史と特徴を紹介しました。そして、皆は浴衣、袴、羽織、帯、下駄などの和服を着る体験をしました。



【6月16日】

- 日本語の授業：最後の授業で参加者は「誕生日」という子供たちの好きなテーマを勉強しました。日本人はどう誕生日を祝うのか、土肥先生と話し合い、誕生日の歌を歌いました。
- イベント：楽しい授業の後で、生徒たちにとって重要な問題を話し合いました。ノボシルスク国立総合大学の卒業生が日本留学について発表しました。



【6月17日】

17日に参加者は一所懸命にフェアウェルパーティーのコンサートの準備をしました。

サマーコースの毎日、初級グループと中級グループは「感想地図」を作りました。このかわいい壁新聞を見て、皆、このコースを懐かしく感じてくれることをコーディネーターは期待しています。



【6月18日】

サマーコースの終わりは素晴らしいコンサートでした。家族や友達も、参加者のパフォーマンスを見に来ました。人形芝居、ダンス・ヴォーカル演奏、日本語での発表、おいしいお菓子、音楽は賑やかな雰囲気を作り出しました。



コーディネーターまとめ

コーディネーター ダリア・イワツシエンコ

「シベリア・北海道」観光・姉妹都市交流センターのサマースクールの教師を担当したことは素晴らしい経験になりました。サマーコースのプログラムを立案するときに、学年や日本語のレベルを問わずに、みんなが日本語と日本文化を学べる授業や活動にすることを目指していました。つまり、私たちのサマーコースは日本語を勉強するだけでなく、日本料理ワークショップや剣道授業などを通して日本文化を理解することを目指したんです。

参加してもらった学習者の日本語能力を高めることはもちろん、日本人と話したり、新しい友達を作ったりすることはいい経験になったと思います。このサマースクールがみんなにとってかけがえのない2日間となったことを願っています。

コーディネーター タチアナ・ベルリゾワ

私にとって日本語サマーコースは忘れられない大事な経験になりました。課程や日程を計画中、主な目標は参加者のために日本語が習いやすい条件をつけることでした。この目標を達成する上で、私たちはできるだけ面白い教材とイベントを開発しようと思いました。しかし、本当の日本の文化や生活が分かるのに、日本研究の専門家及び日本人の協力が欠かせないものだと思います。サマーコースにご協力いただいた先生方は参加者に貴重な経験を得させてくれたと確信しております。私たちは心から感謝の意を表したいと存じます。

参加者は日本語と日本文化に強い関心を持ちそうでしたから、日本語教師を務めるのはとても楽しかったです。子供たちのにこにこ笑っている顔を見て、日本についての様々な質問を受けて、本当に嬉しかったです。皆は日本語が上手になると信じております。皆さん、これからも温かい思い出を一緒に作りましょう！

参加者フィードバック



この素晴らしいサマーコースありがとうございました！日本語の教え方は一番小さい学生にとってもとても面白いです。先生たちは親切で、人当たりがいい

ポパントノプロ・マリーヤ

本当にすごかったです！私はたくさんのお友達ができましたし、日本語も少し勉強になりました。先生たちはとてもやさしかったです。来年も参加したいです。ありがとうございました！



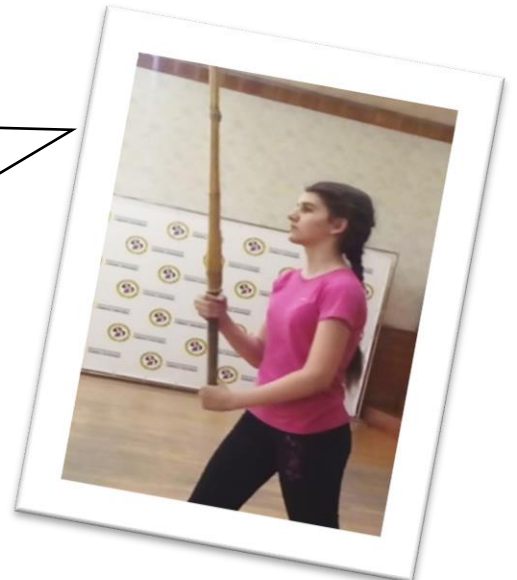
ウィニャチナ・リーヤ



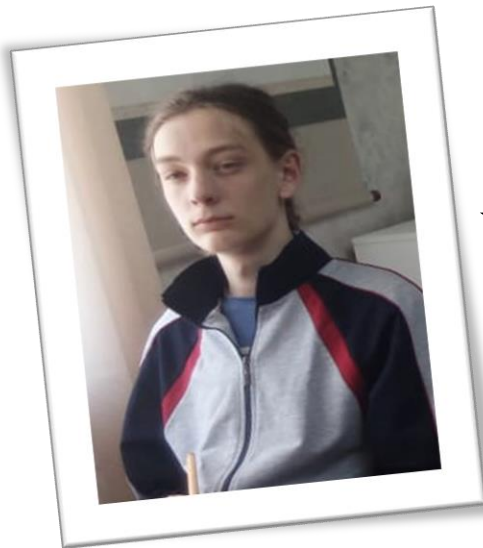
サマーコースが大好きでした。ありがとうございました！コンサートもよくできて、とても楽しかったです。ワークショップの中で「お弁当」が一番珍しくて、最高だったと思います。今年の9月もセンターの日本語コースにぜひ来

トロコンスキイ・アレクサンドル

とても面白いコースでした。日本語の授業が一番好きになりましたから、9月にもセンターへ日本語を勉強しにきたいです。そして、剣道のワークショップはとても楽しかったです。



ベクナザリヤン・アンナ



テリチコ・オレグ

サマーコースの日本語の授業はとても面白かったです。僕は「シベリア・北海道」センターで日本語をもう2年間ぐらい習っていて、このコースのおかげでもっと頑張りたいです。

「シベリア・北海道」センターの2年生としては、日本語に強い興味を持ちます。ですから、日本語の授業の時間がもっと長くなってほしかったです。でも、ワークショップと講義も素晴らしかったですよ！できたら、またぜひ参加したいと思います。



ルキヤノフ・ユーリイ